

2023年4月14日(金)

① 米ドル

同日発表の3月の米卸売物価指数(PPI)がインフレ鈍化を示し、米連邦準備理事会(FRB)の利上げ打ち止めが近いとの見方につながった。

PPIは前月比で0.5%下がり、横ばいとの市場予想を下回った。

エネルギー・食品を除くコア指数も市場予想に反して小幅に下落した。

12日発表の米消費者物価指数(CPI)も市場予想を下回っており、インフレ圧力が緩和しているとの見方が強まった。

13日発表の週間の米新規失業保険申請件数は市場予想を上回り、米景気の一段の減速を示したと受け止められた。

PPIを受けて、米株式市場では「FRBが5月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利を据え置くとの見方が意識された」との声があった。

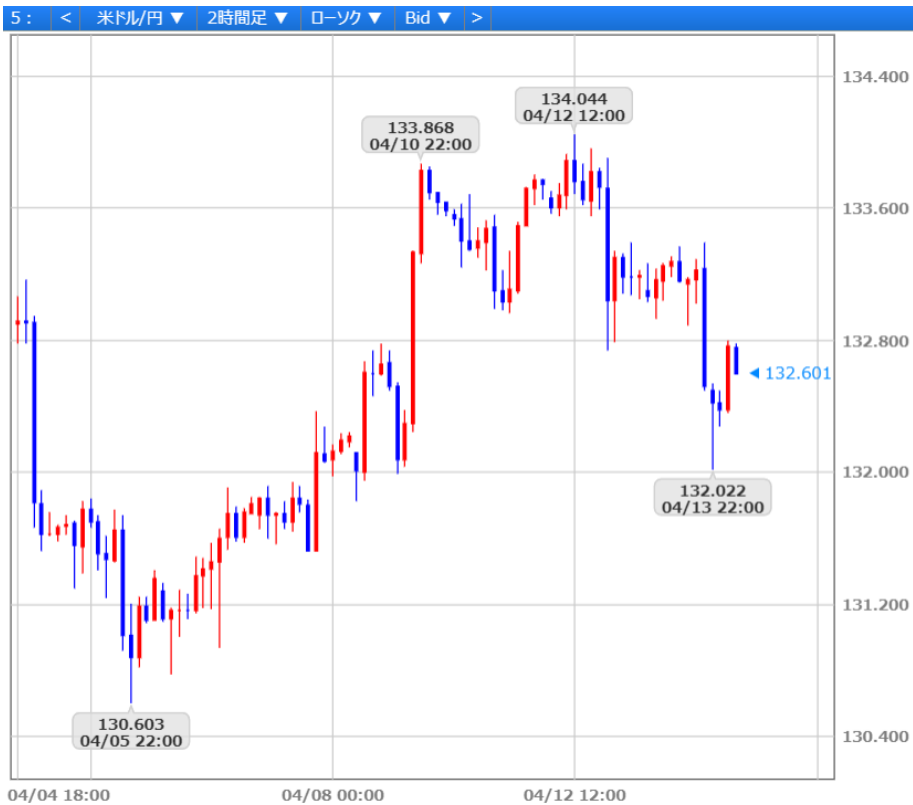
⇒ PPI発表後、一時1ドル=132.02円まで円高ドル安が進んでいます。

やはり、133円以上は一旦売りたいところですね。

昨日もお伝えしましたが、GWから秋に向けて1ドル115円前後に向かう予想は変わっておりません。

一方で、ユーロやボンドなどに対しては大幅な円安に。

ただ私は145円以上のユーロは割高だと考えています。



② ドル建て金価格

米ドル全面安を受けて 2055ドル +30ドルとなってきました。

2020年8月の最高値 2089ドルまであと一歩です。

3年前の夏に開催された海外大規模コインオークションでは、金貨が大暴騰しました。

今回、5月3-5日に開催される海外大規模コインオークションの落札結果が今から楽しみです。

きっとビックリするような価格になると思いますよ！

ナポレオン3世 MS63・64 にぜひ挑戦してみてください！

一方で、残念ながら4月28-30日の東京コインコンベンションでは、今年はオークションが開催されませんね。

それだけ、高鑑定コインの売り物が少なくなったということだと思います。

ここ5-6年が、一番急激にコインの値上がりするタイミングではないでしょうか。

既に高鑑定金貨・銀貨を保有している方は、買い足しながら、ここ数年しっかりと保有していただければと思います。

【ドル建て金価格:3年】



③ ニデック & ユニクロ

ニデック(日本電産)は 6715 円 ▲49 円。

好決算を発表したユニクロは 30270 円 +635 円。

世界景気悪化を反映してニデックの株価は低迷していますが、一方でユニクロは値上げ効果もあり過去最高益となっています。

私はニデックが 10 年間で 4 回目の割安なゾーンにあると思います。

【ニデック:10年】



【ユニクロ:10年】

